聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教育情報の公表　　2023.5.1 現在

目 次

１．学校の概要、目標及び計画---------- 1

・学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色
・校長名、所在地、連絡先等
・学校の沿革、歴史
・その他の諸活動に関する計画

２．学科の教育---------- 5

・卒業認定に係る基本方針
・入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数
・カリキュラム（科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画）
・学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等
・資格取得、検定試験合格等の実績
・卒業者数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数）

３．教職員---------- 7

・教職員数（職名別）
・教職員の組織、教員の専門性

４．キャリア教育・実践的職業教育---------- 8

・キャリア教育への取組状況
・実習・実技等の取組状況
・キャリア支援等への取組支援

５．様々な教育活動・教育環境---------- 8

・学校行事への取組状況
・課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動等）

６．学生の生活支援---------- 9

・学生支援への取組状況
・こころとからだの健康支援

７．学生納付金・就学支援----------10

・学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）
・活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）

８．学校の財務----------13

９．学校評価----------13

１０．国際連携の状況----------27

１１．その他----------27

・学則
・学校運営の状況に関するその他の情報

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　教育情報の公表

１．学校の概要、目標及び計画

●学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色

①設置の目的

キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、介護福祉に必要な専門的知識、技術及び態度と愛の精神が統合された有為な職業人を育成して、社会の福祉に寄与することを目的とする。

②人材養成の目的及び教育目標

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校では、介護福祉の知識・技術・価値・理念と、隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを目的とします。そのために、以下の目標を掲げます。

教育目標

・人間理解にもとづき、他者と全人格的な人間関係を深めることができる隣人愛に根差した態度が身につく。
・介護対象者の全体像をとらえ、介護の領域に必要な基礎的な知識を身につけ、科学的かつ生活に寄り添った個別ケアを展開することができる。
・自己を理解し、だれとでも発展的な人間関係を創造できるコミュニケーション力が身につく。
・常に地域や福祉に関心を持ち、介護福祉実践にかかわる問題として考えていくことができる。
・保健医療福祉チームの一員として、介護専門職者の役割を認識し、協働してその責務を果たすことができる。

③教育指導計画

・隣人愛の精神を実践、追求するための人格形成に重要な科目が、「聖隷の理念と介護福祉教育」です。聖隷の実践は介護から始まったこととその積み重ねを知り、自校で学ぶ意義を考え、これから専門職として目指す働き方、生き方を描いていくための土壌を培います。
・キリスト教と福祉に関する科目を設けます。聖書の人間理解を学び、福祉の分野で働こうとしている人々が持つべき人権擁護の考え方、社会正義、個人の責任、自主性や協調性などを学びます。
・授業は専門学校の専任教員と共に大学・大学院の教員が担当します。介護福祉学科教員だけでなく、社会福祉学科の教員が、「社会の理解Ｉ」を担当します。こども教育福祉学科教員が「人間関係とコミュニケーション」を担当します。同様に、国語表現基礎、情報処理基礎などの科目を設け、実践力のある介護福祉士を養成します。
・選択科目として、教養科目（社会学、法学、経済学、現代コミュニティ論、臨床心理学、レクリエーション概論）の６科目を配置しました。これは希望者が科目等履修により、大学の教養科目を履修できるようにするものです。学生にとっては学びの幅を広げ、大学への編入学の準備（情報収集）となります。

④経営方針

超高齢化社会において、介護の質を向上させ豊かな高齢期を実現するためには、介護職員のリーダーの養成とともに、介護福祉士の量的な確保が必要とされています。こうした社会的ニーズに応え、介護福祉現場で即戦力となる知識と技術を備えた介護福祉士を２年間で養成し、社会に送り出していきます。本学社会福祉学部と一体となって介護福祉士の養成に取り組み、大学教員が授業を担当するほか、大学の充実した施設設備を共用します。さらに聖隷福祉事業団や近隣社会福祉法人による奨学金制度を設け、介護福祉士を目指す学生を支援します。

⑤学校の特色

大学レベルの教育	大学の充実した学修環境を共用し、専門学校の教員と共に日々新しい知識・技術を開拓している大学・大学院の教員が授業を行います。
多様な進路	学生の学ぶ意欲を育て、さらに学びを深めたい学生には大学編入学、その後の大学院進学といった将来の学びの場が開かれています。
豊富な就職先	聖隷学園で学んだ卒業生が、地域の福祉施設において介護実践に携わっていることから将来像を描き、安心して就職をめざすことができます。
充実した経済的サポート	静岡県内の介護福祉専門学校のなかで最も安い学費と２つの奨学金制度で経済的にサポートします。

>>>詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/

●校長名、所在地、連絡先等

①校長名
野田　由佳里

②所在地
〒４３３－８５５８
静岡県浜松市北区三方原町３４５３

③連絡先
聖隷クリストファー大学、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　総務部
０５３－４３９－１４００
somu-office@seirei.ac.jp

●学校の沿革、歴史

①設置認可年月　２０１６年3月３０日
②開設年月日　　２０１６年4月１日

>>>聖隷の歴史については以下の URL をご参照下さい。
https://www.seirei.ac.jp/about/philosophy/history/

●その他の諸活動に関する計画

①学校安全計画

月	行事	安全管理	安全教育	組織活動
4	入学式 オリエンテーション ガイダンス 新入生セミナー 新入生歓迎会 交流会	日常点検 自転車・バイク・自動車の通学安全確認 水質検査	生活安全講習 交通安全講習 消費者教育講習 SNS 利用講習	防災訓練・教育（学生・教職員）
5		日常点検 授業・演習用器具の点検（生活支援技術基礎Ⅰ）	実習前の安全指導 交通安全指導	後援会総会
6	教育懇談会 介護実習（1・2 年生）	日常点検 授業・演習用器具の点検（生活支援技術基礎Ⅰ） 水質検査	実習巡回指導 実習期間中の安全について諸注意（介護総合演習）	教育懇談会 後援会役員会
7	定期試験	日常点検	夏期休業前の安全指導	
8	夏期休業 事例研究発表会	日常点検 授業・演習用器具の点検（医療的ケアⅢ） 生徒用机・いすの点検整備 建物等自主検査		
9	ガイダンス 交流会 リーダー研修会 e-スポーツ大会	日常点検 消防設備機器点検 消防用設備等自主点検	生活安全講習 ネット犯罪防止講習 薬物防止講習 著作権・動画作成研修	防災訓練（教職員）
10	スポーツ大会	日常点検 自転車・バイク・自動車の通学安全確認	交通安全指導	
11	聖灯祭 ホームカミングデー	日常点検		後援会役員会
12	クリスマスツリー点火祭 クリスマス礼拝 クリスマス祝会 冬期休業	日常点検 授業・演習用器具の点検（医療的ケアⅢ）	冬期休業前の安全指導 交通安全講習	
1	定期試験	日常点検 授業・演習用器具の点検（生活支援技術基礎Ⅱ） 水質検査	交通安全講習 実習期間中の安全について諸注意（介護総合演習）	
2	2 年生を送る会 介護実習（1 年生）	日常点検 防災用品点検・購入	実習巡回指導 春期休業前の安全指導 交通安全講習	
3	卒業式 春期休業	日常点検 交通安全対策実施 消防設備機器点検 消防用設備等自主点検	交通安全講習	教職員会（防災） 後援会役員会 次年度安全計画の作成

②学校保健計画

月	行事	計　画
4	入学式 オリエンテーション ガイダンス 新入生セミナー 新入生歓迎会 交流会	健康診断（学生） 新型コロナウィルス感染症感染予防指導（通年） １年生：ＵＰＩ調査(学生心理調査) ２年生：Ｋ６調査(心理調査) 心身の健康相談(学生希望者　随時) カウンセリング（学生希望者　随時)
5		健康診断（教職員） 健康診断事後指導（学生） ・結果説明会 ・個別指導、面談 ・有所見者受診勧奨・ワクチン接種勧奨 治療中の疾患がある学生に対する面接 ＵＰＩ面接(学生）Ｋ６調査面接（学生）
6	教育懇談会 介護実習（1・2 年生）	特定保健指導面談(教職員)
7	定期試験	ストレスチェック(教職員)
8	夏期休業 事例研究発表会	
9	ガイダンス 交流会 リーダー研修会 e-スポーツ大会	健康診断事後指導(学生) ・有所見者受診確認 ・ワクチン接種確認
10	スポーツ大会	聖灯祭前の衛生管理指導 インフルエンザ予防接種（学内接種）希望者 ・ワクチン接種勧奨 ・集団接種（希望者のみ)
11	聖灯祭 ホームカミングデー	ストレスチェックの結果高ストレス者への産業医面接(教職員希望者)
12	クリスマスツリー点火祭 クリスマス礼拝 クリスマス祝会 冬期休業	インフルエンザ予防活動（流行期) ・罹患状況把握 ・予防啓発(注意喚起) 産業医による職場巡視
1	定期試験	
2	2 年生を送る会 介護実習（1 年生)	
3	卒業式 春期休業	次年度保健計画の作成

２．学科の教育

●卒業認定に係る基本方針

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいて、介護福祉の知識・技術・価値・理念と隣人愛の精神が統合された人間教育を行い、自分のことのように他者を考え「愛の実践」ができる介護福祉士を養成することを教育目的としています。

卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、専門士の称号を付与します。

1. 人間理解にもとづき､他者と全人格的な人間関係を深めることができる隣人愛に根差した態度が身についている。
2. 介護対象者の全体像をとらえ､介護の領域に必要な基礎的な知識を身に着け､科学的かつ生活に寄り添った個別ケアを展開することができる。
3. 自己を理解し､だれとでも発展的な人間関係を創造できるコミュニケーション力が身についている。
4. 常に地域や福祉に関心を持ち、介護福祉実践にかかわる問題として考えていくことができる。
5. 保健医療福祉チームの一員として､介護専門職者の役割を認識し､協働してその責務を果たすことができる。

●入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

①入学者に関する受入れ方針

・人が好きで、豊かな感性をもつ人
・他者への気遣いや心配りができ、社会的行動が身についている人
・他者の意見を素直に聴き、自分の意見を言える人
・他者と共同して課題に取り組む誠実さや協調性をもつ人

②入学者数、収容定員、在学生数（2023 年 5 月 1 日現在）

学科名	修業年限	入学定員	入学者数	収容定員	在学生数
介護福祉学科	2 年	40	23	80	44

※編入学制度はありません。
※社会人の継続教育は実施していません。

●カリキュラム（科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画）

①科目配当表

学則 7～8 頁の教育課程表をご参照下さい。
https://www.seirei.ac.jp/carework/media/gakusoku2023.pdf

②時間割

下記 URL をご参照ください（専門学校 TOP ページ→学校紹介→シラバス・時間割）
https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/syllabus/

③授業方法及び内容、年間の授業計画

下記 URL をご参照ください（専門学校 TOP ページ→学校紹介→シラバス・時間割）
https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/syllabus/

●進級・卒業の要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

①成績評価

授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。但し、平素の成績またはレポートの評価をもって試験に代えることができる。授業科目の評価はＳ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄをもって表し、Ｃ以上を合格とし、Ｄを不合格とする。

②卒業認定

授業科目の成績評価に基づいて、校長は、卒業及び課程の修了の認定を行う。

卒業要件に必要な授業時数、単位数は以下の通りである。

	必要授業時数	必要単位数
必修科目	1935 時間	94 単位
選択科目	0 時間	0 単位
自由科目	0 時間	0 単位

③取得可能な称号

専門士（教育・社会福祉専門課程）

●学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

介護福祉士国家試験受験資格

●資格取得、検定試験合格等の実績

資格	受験者数	合格者数	合格率
介護福祉士	22 名	22 名	100%

●卒業者数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数）

卒業生数	23 名	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	20 名	介護福祉士	20 名	14 名	6 名
進学者数	3 名				

３．教職員

●教職員数（職名別）

	人数	内訳	
		男性	女性
校長(兼任)	１名		１名
専任教員	３名	１名	２名
兼務教員	16 名	11 名	５名
非常勤教員	４名		４名
専任職員	１名		１名

●教職員の組織、教員の専門性

①各教員の担当科目

担当科目は下記 URL（PDF）のシラバスをご参照ください（専門学校 TOP ページ→在学生の方→シラバス・時間割)。

https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/syllabus/

②校務分掌組織等

校長	野田由佳里（大学社会福祉学部教授を兼任）
教務主任	髙山暢子
専任教員	佐野仁美、西藤宏之

③教員が当該教育を担当するにあたっての専門性に関する情報（職務上の実績等）等

校長　野田（のだ）　由佳里（ゆかり）

①最終学歴：聖隷クリストファー大学大学院保健科学研究科博士後期課程

②専門領域：高齢者福祉・介護福祉

③メッセージ：介護福祉士は、臨床家でありながら生活者の意識をもつ、生活場面で人権擁護をする仕事です。いのちと暮らしを守る福祉専門職者をめざして、一緒に学んでみませんか。

教務主任　髙山（たかやま）　暢子（ようこ）

①最終学歴：浜松市立看護専門学校

②専門領域：老年看護領域

③メッセージ：老年看護領域での経験を生かし、介護福祉専門学校では学生の皆さんと共に歩み一緒に学びを深め、教育に携われるよう努力していきます。よろしくお願いします。

佐野（さの）　仁美（ひとみ）　教員

①最終学歴：聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程

②専門領域：介護福祉

③メッセージ：聖隷の精神のもと、お一人お一人との関わりを大切にしながら、慣れ親しんだ母校で学生の皆さんと一緒に学び続けていきたいと思います。

西藤（にしふじ）　宏之（ひろゆき）　教員

①最終学歴：聖隷介護福祉専門学校

②専門領域：介護福祉

③メッセージ：母校の教育に携わることができ、やりがいと喜びを感じています。介護教員歴20年以上の経験を活かして、学生の目標達成のために尽力したいと考えています。よろしくお願いいたします。

４．キャリア教育・実践的職業教育

●キャリア教育への取組状況

科目「聖隷の理念と介護福祉教育」を必修とし、介護福祉に関する多くの法人のトップの方々の生の声を聴き、これからの介護福祉運営のビジョンと本校への期待をしっかり受け止め、学修の動機付けを図っています。同時に組織体のあり方、対人関係のあり方、リーダーとなった場合の人材育成のあり方について学びます。

●実習・実技等の取組状況

入学後 2 ヶ月で介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所施設にて 2 週間の実習を行う「介護実習Ⅰ」を設けるなど、実習を通して学びを深める取組を進めています。また、「生活支援技術基礎Ⅰ」において尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を身に付けたりすることができるようにしています。

●キャリア支援等の取組状況

大学と共通のキャリア支援センターが支援しています。社会人になるための基礎講座や、履歴書の書き方・面接の受け方講座等、様々な講座を通じて「介護福祉士専門職」として働く準備のための就職支援プログラムを用意しています。また、就職相談、模擬面接、履歴書・エントリーシート等応募書類の添削、小論文の添削を個別にサポートしています。

キャリア支援プログラム

学年	行事名	内容
	社会人マナー講座	電話やメール、文書マナー、敬語の使い方など、ビジネスマナー対策講座です。
	社会人になるための基礎講座	「働く」こと、社会人に求められる力、ストレス対策（オンとオフ）などの採用試験対策講座です。
	スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	実習前に基本的なスーツ着こなしとメイクアップ法を学びます。
	履歴書の書き方、面接の受け方講座	履歴書作成や面接試験において、必要な自己分析やマナーについて学ぶ採用試験対策講座です。
	卒業生と在学生との懇談会	実際に福祉施設の現場で働いている先輩をお迎えし、仕事の紹介、やりがい、どのように就職を決定したのか、苦労したこと、頑張ったこと、学生時代に考えておくこと、取り組んでおくことなどについてうかがいます。
	就職説明会	施設の採用担当者をお迎えし、お話をうかがい、就職先を選択する機会とします。
2	就職内定後の心構え 社会人としての心構え	社会人になること、職場でのコミュニケーション、ビジネスマナー基礎などを学びます。

５．様々な教育活動・教育環境

●学校行事への取組状況

年間行事予定は以下の URL をご参照ください。

https://www.seirei.ac.jp/carework/campus/schedule/

また、実施した行事については適宜ブログにて報告しています。

https://blg.seirei.ac.jp/carework/

●課外活動（部活動、サークル活動、ボランティア活動等）

課外活動は聖隷クリストファー大学と共同で行っています。

>>>詳しい紹介は　聖隷クリストファー大学　サークル・同好会　のページをご覧ください。

https://www.seirei.ac.jp/campuslife/extracurricular/details/

６．学生の生活支援

●学生支援への取組状況

聖隷クリストファー大学各センターが共同で支援しています。

事項	内容		
健康に関すること	ケガをしたとき、気分が悪いとき、心身の健康のことで相談したいときは、健康管理センターを利用してください。		
カウンセリング	学生相談室を開設しています。カウンセリングを受けたい方は学生相談室に申し出るか、アドバイザーや健康管理センター職員を通じて利用してください。		
キリスト教に関すること	キリスト教センターでは、自分の生き方について迷っている方の相談に乗り、また、キリスト教に関わること全般について、相談を受け、情報提供をしています。		
	主に取り扱う事項	事務窓口と取扱時間	場所
教務関係（学修に関すること）	授業、履修、実習、試験、成績、FD（授業評価等） 国家試験手続き（願書、受験手続き） その他学習に関すること全般	教務事務センター 平日:9:00～18:30 土曜:9:00～17:00	1号館 1階 スチューデントプラザ
学生生活	学籍異動（休学・復学等）に関すること 学割・各種証明書の発行 奨学金、アルバイト、経済的な問題 施設使用、課外活動（クラブ・サークル、ボランティアなど） 通学、交通事故、傷害・賠償保険 下宿・アパート、防犯及び各種トラブル 障がいのある学生からの相談 その他学生生活に関すること全般	学生サービスセンター 平日:9:00～18:30 土曜:9:00～17:00 ボランティアセンター 火・木曜日 11:00～18:00	
進路(就職･進学)	就職・進学に関する相談、模擬面接、履歴書添削（卒業生を含む）、就職支援プログラム、 病院・施設等の採用情報に関すること、 国家試験対策講座・模擬試験に関すること 同窓会に関すること	キャリア支援センター 平日:9:00～18:30 土曜:9:00～17:00	
国際教育・国際交流	海外研修・実習、海外留学、海外ボランティア、海外渡航手続き、その他海外での活動に関する支援、海外の協定校との国際交流活動推進、 国際交流イベントの案内及び参加支援	グローバル教育推進センター 平日:9:00～18:30 土曜:9:00～17:00	
コンピュータ・情報化	コンピュータ･ソフトウェアに関する情報の提供と質問への対応 コンピュータ教室･演習室その他学内のパソコンのトラブル対応 情報関係オリエンテーション・講習会の実施 Wi-Fi 接続に関すること	ICT センター 平日:9:00～18:30 土曜:9:00～17:00	
学習支援	基礎的な学習方法のほか､学修上困っている問題の解決に向けての支援	学習支援室 月・水曜日 10:00～17:00	5号館 6階 5604室
学費ほか	授業料の延納・分納相談 施設・設備に関すること 障がいのある学生からの相談	大学総務部 平日:9:00～17:30 土曜:9:00～17:00	1号館 1階
入試について	入試や受験生向けの広報に関すること（家族や知人で入学を希望者がいる､パンフレットや募集要項希望など）	入試・広報センター 平日:9:00～17:30	

●こころとからだの健康支援

１）からだの健康（健康管理センター）

健康上の様々な問題や心配ごとの解決のための支援を行います。

［主な業務］

・健康診断 …… 「学校保健安全法」に基づき毎年４月上旬に健康診断を行います。

・応急処置 …… 学内での急病やケガに対しての応急手当を行います。体調が悪いときは休養室で休むこともできます。また、状態によっては外部の医療機関に紹介するなど適切に対応します。

・健康相談……健康上の悩み、不安、気になることについて看護師の職員が相談に応じます。開室時間内ならいつでも対応します。

・健康教育 …… 保健医療福祉及び教育・保育を学ぶ学生のみなさんに感染症予防のための知識の啓発を目的として学校医によるＢ型肝炎予防、結核予防についての健康教育を行っています。

・その他……身長計・体重計・血圧計を設置しています。

２）こころの健康（学生相談室）

○相談窓口

大学生活を送る中で「どこへ相談したらよいか分からない」、「誰に相談したらよいか分からない」、「誰かに話を聞いてほしい」、「カウンセラーに相談したい」というようなことが起こったときは、学生相談室にカウンセラー等がいますので、問題をひとりで抱え込まず、相談室の戸をたたいてください。

［相談内容］人間関係について（友人、恋愛、家族のことなど）

自分について（自分を変えたい、人と違っているみたいだ、自分を知りたいなど）

精神的なもの（イライラ、緊張、ストレス、不安、やる気がおきないなど）

身体的なもの（眠れない、食べられない、食べすぎてしまうなど）

○カウンセラーによるカウンセリング

［利用時間］月・水・金　10：00～17：00　※長期休業期間は変更する場合はあります。

［カウンセリング予約方法］５号館１階の学生相談室窓口で随時受け付けています。

メールでの予約もできます。

学生相談室のホームページに利用可能日と時間を掲載しています。

７．学生納付金・就学支援

●学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）

授業料、入学金その他の費用（2023 年度）　　単位：円

学部・学科名	授業料（年間）	入学金	合計（初年度納付金）
介護福祉学科	780,000	200,000	980,000

※施設設備費、実習費は、授業料に含まれています。

入学検定料

学部・学科名	入学検定料
介護福祉学科	20,000 円

●活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）

（1）菅野・太田・長谷川奨学金（貸与）…… 募集時期：4 月、9 月

応募資格	将来、将来外を問わず、広く保健医療福祉及び教育・保育の分野において社会に貢献する志を有する者
貸与月額	53,000 円（無利息）

（2）聖隷クリストファー大学同窓会・後援会奨学金（貸与）…… 募集時期：4 月

応募資格	卒業後、保健医療福祉及び教育・保育の専門職として社会に貢献する志を有する誠実な学生のうち経済的理由により大学各学部の 2 年次、3 年次、4 年次および専門学校の 2 年次に在学する学生でアルバイト等をしなければ修学が困難な者
貸与月額	40,000 円（貸与期間最長 1 年、無利息）

（3）K.M.奨学金（貸与）…… 募集時期：4 月

応募資格	卒業後、国内外を問わず広く保健医療福祉及び教育・保育の専門職者として社会に貢献する志を有する学業成績、人物ともに信頼のおける誠実な学生のうち大学各学部 2 年次、3 年次、4 年次および専門学校 2 年次に在籍する学生
貸与月額	50,000 円（貸与期間最長 1 年、無利息）

（4）日本学生支援機構

①第一種奨学金（貸与）…… 募集時期：4 月

応募資格	特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者
貸与月額	自宅通学者　20,000 円・30,000 円・40,000 円・53,000 円（無利息） 自宅外通学者　20,000 円・30,000 円・40,000 円・50,000 円・60,000 円（無利息）

②第二種奨学金（貸与）…… 募集時期：4 月

応募資格	第一種より緩やかな基準
貸与月額	20,000 円～120,000 円から 1 万円単位で選択（有利息）

③給付奨学金（給付）…… 募集時期：4 月、9 月

応募資格	家計の経済状況、学業成績、学修意欲による
貸与月額	経済状況等による

【日本学生支援機構の奨学金に関するＱ＆Ａ】

〇申し込めば全員採用されますか？

→採用条件を満たさない場合は採用されません。

〇他の奨学金と併用できますか？

→奨学金によっては併用できないものがありますので、それぞれ確認してください。

〇採用後に金額変更、取り消しなどはできますか？

→できます。学生サービスセンター窓口に申し出てください。

〇年度途中で申し込みはできますか？

→緊急事態（家計支持者の死亡や失業）や災害等で家計が急変し、証明書があれば申請できます。

〇在学中に奨学金受給を辞退した場合、返還はどうなりますか？

→在学猶予制度を申請すれば、卒業まで返還は猶予されます。

〇第一種と第二種および給付を同時に申し込むことはできますか？

→併用基準を満たしていればできます。

〇四親等以内・知人に保証人のあてがありません。

→機関保証制度を選択すれば応募できます。機関保証の場合は、保証金を引いた月額が月々入金されます。ただし、採用後、保証人が見つかっても人的保証に変更はできません。

〇学年が変わる時に手続きは必要ですか。

→毎年自分で継続（あるいは辞退）届を入力することが必要です。適格認定により廃止となる場合もあります。

（5）聖隷福祉事業団奨学金（介護福祉士養成校）

①一般奨学金…… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、聖隷福祉事業団各施設のいずれかに介護福祉士として勤務すること
貸与月額	月額 30,000 円（貸与期間最長 2 年）

②特別奨学金…… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、聖隷福祉事業団各施設のいずれかに介護福祉士として勤務すること
貸与月額	月額 30,000 円または 50,000 円（貸与期間最長 2 年）※返還免除制度あり

【聖隷福祉事業団奨学金（介護福祉士養成校）に関するＱ＆Ａ】

〇奨学金に応募する場合、就職先はどうなりますか？

→卒業後、聖隷福祉事業団各施設に必ず勤務することが条件になります。

〇2 年次生になってから申し込みはできますか？

→できます。

〇奨学金の振込銀行はどこでもよいですか？

→遠州信用金庫中川支店の口座と指定がありますので、口座がない場合は開設していただきます。

〇学年が変わる時に手続きは必要ですか。

→毎年、聖隷福祉事業団法人本部人事企画部に成績証明書を提出することが義務付けられています。

（6）クリストファー介護福祉士奨学金…… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、会員施設のいずれかに介護福祉士として勤務すること ※会員法人　一穂会（西山病院グループ）、小羊学園、三幸会、慈悲庵、十字の園、白梅会、七恵会、日本老人福祉財団、八生会、ひかりの園、牧ノ原やまばと学園、和恵会
貸与月額	月額 30,000 円または 50,000 円（貸期間最長 2 年）※返還免除制度あり

（7）天竜厚生会介護福祉士奨学金…… 募集時期：随時

応募資格	卒業後、天竜厚生会に介護福祉士として勤務すること
貸与月額	月額 30,000 円または 50,000 円　※返還免除制度あり

（8）あしなが育英会奨学金（貸与）…… 募集時期：４月～５月

応募資格	保護者等が病気もしくは自死（自殺）や災害（除、交通事故）等で死亡したり、著しい障害で、経済的な援助を必要としている 25 才までの学生
貸与月額	一般 40,000 円、特別 50,000 円

（9）交通遺児育英会奨学金（貸与）…… 募集時期：10 月

応募資格	保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、経済的に修学が困難な 25 才までの学生
貸与月額	40,000 円、50,000 円、60,000 円から選択

（10）ニッセイ聖隷健康福祉財団奨学金（給付）…… 募集時期：４月

応募資格	介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として、卒業後高齢者福祉施設（有料老人ホーム・介護老人福祉施設・介護老人健康施設・健康増進センター等）に勤務を希望する者
貸与月額	20,000 円（期間：介護福祉士 2 年間、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 3 年間）

（11）静岡県介護福祉士修学資金（貸与）…… 募集時期：４月

応募資格	卒業後、静岡県内の社会福祉施設等で 5 年以上介護福祉士の業務に従事しようとする者
貸与月額	50,000 円に加え、１年次生には入学準備金 20 万円が、卒業時に就職準備金 20 万円が貸与されます　※返還免除制度あり

地方自治体の奨学金

＜特定資格の養成施設在学者対象＞
上記で紹介した以外にも、都道府県によっては、介護福祉士の養成施設に在学する学生を対象とした奨学金制度を有する場合があります。この奨学金は、卒業後、その都道府県内の施設で一定期間勤務することが条件になります。詳細は学生サービスセンターに問い合わせてください。
＜出身地の学生対象＞
都道府県や市町村の中には､｢出身地の学生｣を対象にした奨学金制度を有するところがあります。各地方自治体の教育委員会が窓口になることが多く、自治体広報誌を通じて募集されます。直接、自治体に問い合わせてください。

授業料等の延納・分納制度
特別の事情により期日までに学費を納付できないときは、分納や納入期限の延長を申請することができます｡申請については､納入期限の遅くとも１ヵ月前までに大学総務部に相談してください。

８．学校の財務

聖隷学園として、以下の URL にて財務情報を公表しています。
https://www.seirei.ac.jp/gakuen/financial/comparison

９．学校評価

＜2022 年度教育活動等の学校評価＞
１　入学者を確保するための学生募集活動（2023年度入学者目標数40名）
高校生、保護者の介護に関するイメージ向上を図るため、介護の魅力・やりがい・将来性などをオープンキャンパス、高校内ガイダンスなどを通して教員および介護現場で働く方（特に卒業生）から伝えていくことを継続します。5 月を目処に受験生情報サイトのリニューアルを完了し、ホームページからも高校生がより介護に興味が持てるようにします。

① 接触者を増やし、確実に出願・入学に繋げる。
ホームページ、受験生情報サイトを充実させ、オープンキャンパス等の募集行事への参加者増を図ります。また、その後の出願まで繋がるようにサンクスレター、ダイレクトメールを定期的に送付します。

評価：△
予定通り行事・施策を行ったが、オープンキャンパス等の接触が昨年とほぼ同数であり、十分な接触者が得られなかった。接触者が確実に出願・入学につながるよう、オープンキャンパス時の個別相談の持ち方など見直しを行うなど工夫したが、入学者は 23 名（うち 6 名が外国人留学生）にとどまった。

② 卒業生の活躍をホームページや募集行事において紹介する。
地域で活躍している卒業生をホームページで紹介するほか、オープンキャンパス等の募集行事で講話をお願いすることで、介護の魅力・やりがいを伝えていきます。

評価：○
8/20 のオープンキャンパスなどで施設からの中継など新しい試みで卒業生の活躍を発信した。

③ 修学支援制度および近隣法人と連携した奨学金制度を分かりやすく伝える。
修学支援制度に関する情報提供を継続するほか、近隣法人と連携した奨学金制度を丁寧に分かりやすく紹介します。奨学金を希望する高校生には本校への出願とあわせて施設見学・役員面接へとスムーズに進めるようサポートをしていきます。また、コロナウィルス感染症の収束した際には「福祉のお仕事体験」を再開します。

評価：○
実施し、多くの学生が制度を利用している。入学希望者にも個別に説明し、入学前の申請についてもサポートを行っている。「福祉のお仕事体験」も今年度の夏から再開した。

④　外国人留学生、社会人への広報を行う。

アジアからの外国人留学生を継続して受け入れるために、県内の日本語学校４校を中心に募集広報活動を展開します。外国人留学生には介護福祉士の仕事内容に加えて魅力・やりがいを伝え、将来をイメージできるようにします。

社会人へのアプローチについては、ホームページに社会人の入学に関する情報を増やすほか、新しい接点をもつための広報・広告について検討し、実行します。

評価：△
外国人留学生については、浜松日本語学院以外の日本語学校から２件問い合わせがあり、訪問等も行ったが、日本語力の問題などもあり、出願・入学につながっていない。留学生は口コミによるところが大きいので、今後在校生からのヒアリングを行う。

２　知識や技術の深い理解とともに、人間力と実践力を涵養する教育の徹底

（１）満足度の高い授業展開を図ります。

①　授業評価の高くない科目については授業内容等を見直し、授業の内容、方法の改善を図ります。

②　主体的学修（アクティブラーニング）を促す授業展開を推進します。

評価：○
WebClass などの活用で事前・事後学習を行う科目を増やした。グループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションも積極的に行った。

（２）学力評価試験と介護福祉士国家試験に全員が合格するように教育・試験対策を強化します。

①　特別な支援を必要とする学生や外国人留学生を中心にグループ学習や個別学習を強化します。

②　国家試験対策委員と専門学校教員が中心となり、学生がお互いに助け合いながら国家試験の勉強に取り組めるように支援を行います。

評価：○
社会福祉学科と協働をし、国家試験対策を行った。特に特別な支援を必要とする学生に対して補講授業などの計画を立てて実施した。

３　学生支援の充実

（１）就職・キャリア支援

①　奨学金支援法人との協力

学生がキャリアデザインを描けるよう、奨学金支援法人の採用担当者や就職した卒業生に対して就職支援行事等での講話依頼を継続します。合わせて、当該法人の運営理念等の理解を深めることで就職につながるよう支援していきます。

評価：○
12 月に卒業生と在学生との懇談会、3 月に聖隷福祉事業団単独の説明会及びクリストファー介護福祉士奨学会加盟施設を中心とした施設説明会を実施した。

②　編入学

学生が大学への編入という選択肢について、就職活動前に十分に検討できるように積極的に学園内推薦編入学制度の利用を促し、福祉分野でより高い専門性と知識を実践するための学修を学園内で継続できるよう支援していきます。

評価：○
2 年次生は 3 名が編入学の予定。1 年次生は春・秋セメスターのガイダンス時に説明済みであり、意向のある学生に対して科目等履修を勧めている。また 12 月に「卒業生と在学生との懇談会」で実際に編入した卒業生からの話を聞いた。

③　卒業生支援

卒業生同士の情報交換のほか在学生との交流等を継続できるよう、ホームカミングデーや教員が行っている勉強会等の案内についてホームページを中心に継続して発信していきます。計画的に情報更新をすることで、卒業生の接触機会の維持につなげます。

評価：○
施設で行われる研修などのサポートを行った。このほか、ホームカミングデー実行委員会での開催に向けた準備の様子は都度 HP に掲載。また勉強会・研究会の案内も HP に掲載し、4 月・9 月には郵送による案内も実施した。

（2）学生生活

建学の精神「生命の尊厳と隣人愛」を具現化した、学生支援を深め、だれもがその人らしい学生生活が送れるように支援します。

①　日本人学生と外国人留学生が共に学びあい、育ちあうように、教育や学生支援を行います。
②　人間力や組織運営力の涵養を図るために行われる、専門学校独自の行事を強化します。
③　交通事故等の発生がないように、各セメスターのガイダンス時等で学生に呼びかけします。

評価：◎
礼拝、授業、朝の会、個別面談、各種注意喚起など、折に触れ行っている。

4　外国人留学生の受け入れ後の対応

外国人留学生の入国管理、公的機関に関する手続き、資格外労働の管理、日本語支援等、生活全般にわたるサポートを行います。外国人留学生が安心して生活し、学業に専念できる環境を作り、自立して日本での生活ができるよう、支援します。

評価：◎
留学生の在留資格更新手続きの準備と支援、在籍状況やアルバイト時間数などについて、適正な管理を行っています。また、面談を行い、学修や生活で困っていることや悩みがないか確認したり、社会保険や年金など留学生にとって難しい手続き事項について一緒に対応したりしています。2022 年度は教務主任と連携しながら日本語学習や日常生活の支援も行いました。

＜2022 年度学校関係者評価＞

学校が実施した自己点検・評価結果の各項目を根拠資料とともに説明し、評価項目ごとの自己点検・評価結果の妥当性について検証すると共に、各委員から意見を聴取した。なお、自己点検・評価の評価項目と様式は、静岡県専修学校各種学校教育振興会 自己点検・評価委員会発行『自己点検・評価ガイドライン』に掲載されているものを一部改編して使用した。

【学校関係者評価委員会　構成員】

①在学生の父母等保証人・・・・袴田幹子 氏

②関連実習施設の関係者・・・・社会福祉法人小羊学園 在宅支援センターぱぴるす施設長　紅谷 純 氏

③高等学校関係者・・・・・・・聖隷クリストファー高校校長　上村敏正 氏

④大学関係者・・・・・・・・・聖隷クリストファー大学社会福祉学部介護福祉学科学科長　佐藤順子 氏

【実施日（意見聴取日）】

2023 年 2 月 21 日

【評価に用いた資料】

・専門学校の自己評価および学校関係者評価について

・2022 年度　聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　自己点検・評価結果

・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　教育情報の公表

・2022 年度　聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　事業計画

・2022 年度　聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　履修要項

・2022 年度　聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　学生生活の手引き(CAMPUS　LIFE)

・聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　学報 2022 年 7 月号、12 月号

・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　2023 年度入学案内/募集要項

1. 教育理念・目標・人材養成

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
①　学校の理念・目的・人材養成像は定められているか	④　3　2　1	〔現状の問題点〕 　問題点は特にないが、更に教員間の意識共有や、学生への丁寧な周知の必要性がある。 ①②：履修要項に記載されており卒業時の到達度は、履修要項の「卒業時認定にかかる基本方針」に示されている。 ③：教員会での検討を行い、求められる介護福祉士像や、社会背景、時節にあったものとなっているか見直しを年2回行っている。 ④：専門学校教職員会議で教職員に周知を図っている。学生はガイダンス（春・秋のセメスター開始時）や授業内、礼拝等で、具体的でわかりやすく話すなど工夫し周知を徹底している。特に今年度は礼拝での教員の話の中で、かみ砕くことや、繰り返し説明する工夫を行っている。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
②　教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④　3　2　1		
③　教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④　3　2　1		
④　教育理念並びに教育目標を教職員・学生に周知しているか	④　3　2　1		

2. 教育活動

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
①　カリキュラムは教育目標が反映されているか	④　3　2　1	〔現状の問題点〕 問題点は特になし。 2021年度より、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則（以下、「指定規則」という）の一部改正に伴い教育課程を改定した。成績評価は、履修規程やシラバスに従って行い、全体的な視点で授業科目ごとのGP（Grade Point）も確認し、授業の点検・評価をしている。 ①:「学則第3条　キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、介護福祉に必要な専門的知識、技術及び態度と愛の精神が統合された有為な職業人を育成して、社会の福祉に寄与することを目的とする。」を実現するため指定規則に則って、介護福祉士養成に必要な科目を配置している。カリキュラムを静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課に届け出ている。 また、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶するために、「聖隷の理念と介護福祉教育」を開講している。加えて、毎朝礼拝の時間を設けている。 ②:カリキュラムは、指定規則に指定された内容を教育するための科目を配置しており、指定規則の改正に合わせて見直しを行うこととなる。各科目の内容については、シラバス作成時期に各教員が見直し、教育改善を進めている。2021年度より、指定規則の一部改正に伴いカリキュラムを改定し、2022年度は滞りなく進めている。 ③:テキストはシラバス見直し時に各教員が最新のテキストを提示している。新版の発行等については、図書販売業者の確認も行われ、教授内容に合わせて選択を行っている。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
②　定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	④　3　2　1		
③　テキストや教材は適切なものを選定しているか	④　3　2　1		
④　シラバスが作成され学生に配布されているか	④　3　2　1		
⑤　授業の点検・評価が適切に実施されているか	④　3　2　1		

<table>
<tr><th>評　価　項　目</th><th>適切・・・・・・・・・4
ほぼ適切・・・・・3
やや不適切・・・2
不適切・・・・・・・1</th><th>自己点検・評価による現状の問題点
および改善のための方策</th><th>学校関係者の評価とコメント等</th></tr>
<tr><td>⑥　資格試験の合格率は</td><td>④　3　2　1</td><td rowspan="5">④：シラバスは、毎年作成方針を決めて、方針に沿って各教員が見直しの上作成している。
⑤：成績評価は、履修規程やシラバスに沿い行っている。また、履修状況、科目別成績評価状況（GP）を教職員会で確認し、学生の学修状況を確認し、組織的な見直しを行っている。教員レベルでは、シラバス作成に当たって振り返りを行っている。
⑥：介護福祉士国家試験の現役合格率は、2020年度全国介護福祉士養成施設の平均72.9%に対して本校は95.8％（23名/24名）、2021年度同65.3％に対して、88.9％（16名/18名）であり、不合格者はいるものの、全国平均に比べて高い合格率を維持している。
⑦：資格試験の受験申し込み状況を把握したのち前期に希望者には模擬問題の配布や個別指導の時間を設けている。2021年度既卒受験者は4名受験し2名合格した。
⑧：成績評価は、シラバスにおいて評価方法をあらかじめ明示し行っている。科目の到達目標の到達状況は科目責任者がシラバスに記載している評価方法に基づき評価を行い、教員間で情報を共有し必要な学修支援を行っている。本校では、指定規則に定められた科目の修得が必要であり、進級・卒業の判定審査については本校学則、履修規定に基づき適切に実施している。
⑨：目標に到達しない学生に対し、講義系の科目では追加課題を出すなどの個別対応をしている。演習系の科目では、教員と共に補習を行っている。但し、実習については到達できない場合は、再履修など資格取得に向け厳格な評価をしている。
⑩：卒業判定は卒業要件に対する単位修得状況を確認することで、客観的な判定を行っている。</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td>⑦　資格試験不合格者の対策は</td><td>④　3　2　1</td></tr>
<tr><td>⑧　評価は適切な方法で行われているか</td><td>④　3　2　1</td></tr>
<tr><td>⑨　目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか</td><td>④　3　2　1</td></tr>
<tr><td>⑩　進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか</td><td>④　3　2　1</td></tr>
</table>

3. 学生の受け入れ

<table>
<tr><th>評　価　項　目</th><th>適切・・・・・・・・・4
ほぼ適切・・・・・3
やや不適切・・・2
不適切・・・・・・・1</th><th>自己点検・評価による現状の問題点
および改善のための方策</th><th>学校関係者の評価とコメント等</th></tr>
<tr><td>①　学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か</td><td>4　③　2　1</td><td rowspan="4">〔現状の問題点〕
2018年度以降の入学者は21名、27名、19名、28名と推移しており、2022年度も22名と入学定員40名を満たせていない。
①④:コロナウイルス感染症の影響も収まり、オープンキャンパス等募集行事の開催、ガイダンス(高校内、会場)への参加、ダイレクトメールの発送など概ね当初予定通り実施ができたものの、接触者数は以前と同程度にとどまった。
⑥:2018年度から5年間の入試結果は別表の通り。平均充足率は59.0%である。

〔改善のための方策〕
オープンキャンパスでは、個別相談の持ち方を見直したほか、オンラインで福祉施設と結び、卒業生の活躍を紹介した。2022年夏にはコロナ禍で開催できなかった「福祉のお仕事体験」を再開した。
学校の特長がまだ十分に発信できていない点が課題であり、ホームページ、SNS、ダイレクトメールによる情報発信のほか、入学実績がある高校を中心とした訪問に注力していく。また外国人留学生獲得のため、県内の主要な日本語学校を訪問し、就職まで見据えた奨学金制</td><td rowspan="4">自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。

介護は汚い、賃金が安い、というイメージが先行し、高校生を支える保護者や高校教員から敬遠されている現状がある。小学生や中学生の早いうちから授業などを通して福祉の世界を知ってもらうこと、また実際の職場体験をしてもらうことで、高校生になって進路を決める際の選択肢として介護を身近に感じてもらえるのではないか。基本給の安さが強調されがちだが、夜勤手当や資格手当は他業種に比べてむしろ高いこと、福利厚生も充実した施設が多いこと、数年続ければケアマネジャー資格取得につながるなどキャリアアップも望めることなど、介護職のよい点をアピールしていくとよいのではないか。留学生は全体数が増えるなかで介護を選んでもらえるよう、資格を取れば日本で長く働き暮らせるようになること、そのための国家試験合格率が本校は高いこと、支援が手厚いことをアピールしていくとよいのではないか。
〔回答〕
小学生や中学生の世代へのアピールはぜひ取り組んでいきたい。オープンキャンパスに来る生徒は現状は少ないがほぼ入学につながる。介護職のいい点を広く発信して、介護に関心を持ち、オープンキャンパスに来て</td></tr>
<tr><td>②　入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか</td><td>④　3　2　1</td></tr>
<tr><td>③　募集要項の内容は適切か</td><td>④　3　2　1</td></tr>
<tr><td>④　学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か</td><td>4　③　2　1</td></tr>
</table>

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
⑤　入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④　3　2　1	度の紹介を継続して行う。	くれる生徒数を増やしたい。本校の4つの特徴（大学レベルの教育／きめ細やかな学生支援／多様な進路と豊富な就職先／充実した経済的サポート）もアピールしていきたい。 　在学生の満足度が出身校の教員や生徒たちに伝わるので、在学生への手厚いサポートや課外活動の充実にも取り組み、在学生が後輩たちに勧めたい学校となることも意識していきたい。
⑥　志願者状況、定員充足率はどうか	4　3　②　1		
⑦　中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	④　3　2　1		

⑤　:別表

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
志願者数（人）	21	29	20	29	22
合格者数（人）	21	28	20	29	22
入学者数（人）	21	27	19	28	22
充足率（%）	52.5	67.5	50.0	70.0	55.0

4. 教員組織

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
①　専任教員は設置基準を満たしているか	④　3　2　1	〔現状の問題点〕 　教員の担当科目時間数について過密な時間割になっている時期がある。 　本年度は8名の留学生が入学しており、留学生に対する日本語指導や国試対策支援、到達目標に達しない学生への学修支援など教員の業務が増えている。 〔改善のための方策〕 　2023年度からは学生の学ぶペースと教員の負担に考慮した時間割編成を予定している。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
②　専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	4　③　2　1		
③　教職員の業務分掌は明確になっているか	④　3　2　1		
④　教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	④　3　2　1		
⑤　教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	④　3　2　1		
⑥　職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4　③　2　1		

5. 学生支援

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
①　奨学金等、経済的支援は整備されているか	④　3　2　1	〔現状の問題点〕 　心の健康問題を抱える学生を早期に把握して支援するにあたり、新入生はスクリーニングテスト（UPI調査）を実施していたが、2年次生は対応できていなかった。 〔改善のための方策〕 ②：2年次生に簡易スクリーニング調査（K6調査）を実施し、ハイリスクの学生は学生相談室に繋げ、支援することとした。 〔結果検証〕 ②：設定した基準により学生をカウンセラーがアセスメントを行った。結果的に専門学校生は1名も要フォローには至らなかったが、アセスメントを行ったことにより、該当の学生の状況を把握することができ、その後の指導・対応に繋げた。一定の効果はあったとの判断から、次年度以降も簡易スクリーニング調査（K6調査）は継続して実施予定である。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
②　学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	④　3　2　1		
③　各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	④　3　2　1		
④　防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	4　③　2　1		
⑤　進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④　3　2　1		
⑥　新たな求人開拓の努力をしているか	④　3　2　1		

6. 施設・設備

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
①　講義室は学習を行うのに充分な面積を有しているか	④　3　2　1	〔現状の問題点〕 問題点は特になし。 ①②③④⑤⑧：専門学校棟に普通教室が2室（各144.0m2）、学生が自学自習できる実習教育室（36.0m2）を設けている。大学2号館の介護実習室（115.4m2）は大学社会福祉学部と共用している。その他の施設設備も大学と共用しており十分に整っている。また、教務事務センターで教室の使用状況を一元管理している。教室等の修繕等は財務部施設課が対応しており、不具合等が生じれば都度対応している。教室には教員用パソコン、プロジェクタ、DVDプレーヤーなどの機器が整備されており、授業に活用されている。実習教育室にはパソコンとプリンタが1台ずつ常設してあり、学生が自由に使用することができる。プリンタは、学生の持込パソコンからWi-Fiで直接印刷できるように2022年度内に設定の追加を予定している。教室、実習教育室ではWi-Fiが利用できる。情報処理の授業など全員がパソコンを使用する際には、大学の機器を共用して対応ができている。 ⑥：図書館には、介護関連の図書が9,354冊あり、教員と学生からの希望を含めて選定リストを図書館事務センターが作成し、図書館運営会議に諮り選定している。学生は、貸出パソコンを借りて学習や、ラーニングコモンズなどで自主学習をしている。 ⑦：健康管理センターが設置されており、看護師資格を保有している専門の職員2名が常駐している。 ⑨：教員室は専門学校棟の1階に置かれており、常時学生が立ち寄ることができるようになっている。教員室には各教員用に机・イス・パソコンが配備されている。管理は教員が行っている。夜間は機械警備がセットされ室内のセキュリティーを確保している。 ⑩：事務室は、スチューデントプラザに学生支援のための事務部門	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
②　実習室は実習を行うのに充分な面積を有しているか	④　3　2　1		
③　実習設備は整備されているか	④　3　2　1		
④　講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④　3　2　1		
⑤　学生が自学自習できる教室を有しているか	④　3　2　1		
⑥　図書室は適切に整備されているか	④　3　2　1		
⑦　保健室は適切に整備されているか	④　3　2　1		

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
⑧　教育用機器備品は整備されており活用されているか	④　3　2　1	（センター）が集約されている。教務事務センター、学生サービスセンター、キャリア支援センター、グローバル教育推進センター、ICTセンターなど専門性をもって学生支援にあたっている。管理部門として総務部が置かれている。	
⑨　教員室の管理は適切に行われているか	④　3　2　1		
⑩　事務室の管理は適切に行われているか	④　3　2　1		

7. 管理・運営

評　価　項　目	適切・・・・・・・・・4 ほぼ適切・・・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・・・・・1	自己点検・評価による現状の問題点 および改善のための方策	学校関係者の評価とコメント等
①　理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	④　3　2　1	〔現状の問題点〕 財務分析比率について、入学者の未充足により専門学校単独の帰属収支差額がマイナスである点が問題である。 〔改善のための方策〕 学生募集力を強化し入学者を充足させるために2023年度は以下の点を中心に募集広報を進めていく。 ・実績のある高校を中心に教職員による訪問を増やし、介護福祉の魅力、卒業生の活躍を伝える。 ・ホームページ、SNSによる情報発信は、卒業生動画等内容を更に充実させ、オープンキャンパス、ガイダンスへの参加者増を図る。 ・就職先、実習先の施設と連携した募集広報活動（施設見学会、オープンキャンパスでの中継など）を継続・発展させる。 ・外国人留学生（在学生、卒業生）の状況を日本語学校訪問時及びホームページ等で紹介する。	自己点検・評価結果の妥当性が確認できました。
②　理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	④　3　2　1		
③　就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	④　3　2　1		
④　就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	④　3　2　1		
⑤　組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④　3　2　1		
⑥　消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	④　3　2　1		
⑦　個人情報保護法を遵守しているか	④　3　2　1		
⑧　ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	④　3　2　1		
⑨　財務分析比率は適切な数字になっているか	4　3　②　1		
⑩　学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	④　3　2　1		

１０．国際連携の状況

専門学校としての国際連携活動は現在のところ実施しておりません。

１１．その他

●学則

学則は以下の URL をご参照ください。

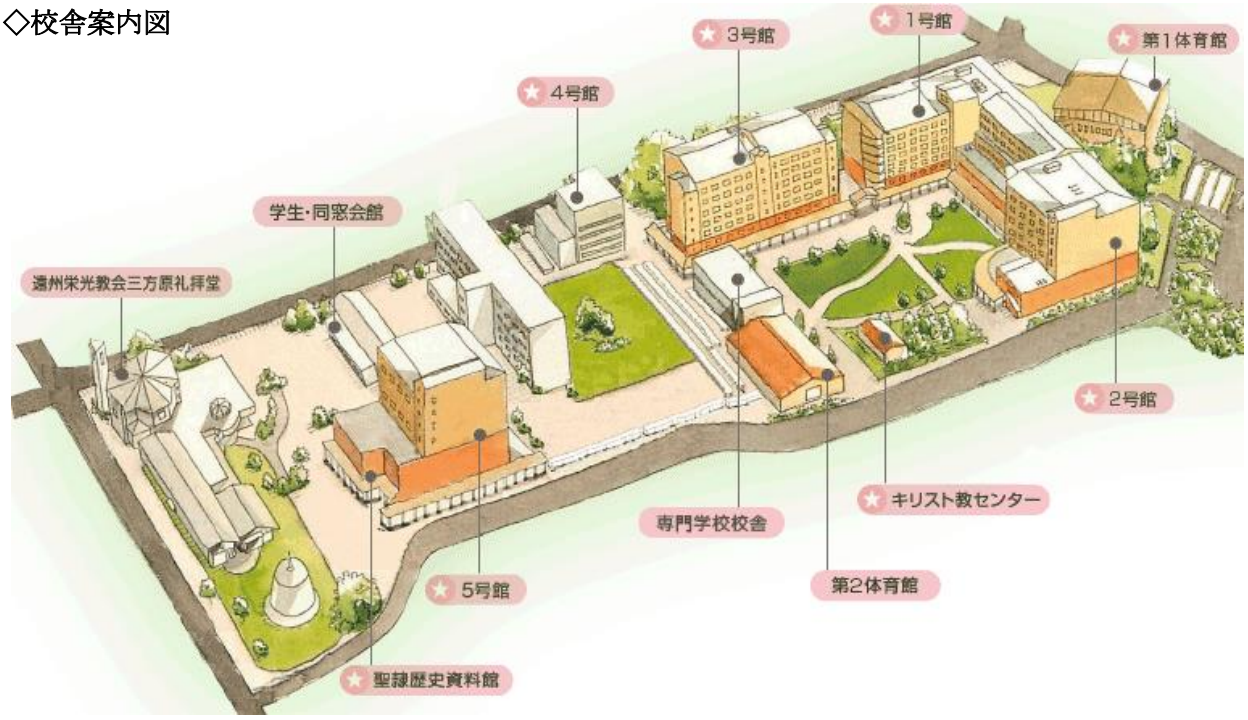
https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/regulations/

●学校運営の状況に関するその他の情報

キャンパスは以下の通りで、聖隷クリストファー大学の施設も利用可能です。

キャンパスの木々の緑は目にも優しく、赤レンガとベージュの校舎にはアーチの窓や回廊が施されて明るく開放的。清潔感のある空間があふれています。学内には 240 席の大教室や小グループでの活動が円滑に行われるように工夫された演習室、高度な技術を学ぶためのさまざまな実習設備、自学自習や授業で利用されるコンピュータ教室、豊富な資料を備えた図書館、体育館など、利用しやすくて満足できる学修環境が整っています。またランチタイムやミーティングのための学生ホールは、憩いの場としても活用できるように整備されています。学生サービスセンターや健康管理センターでは、安心して学べるよう、日常生活も含めてサポートします。

◇校舎案内図



>>>主な施設については下記ＵＲＬをご参照ください。

https://www.seirei.ac.jp/carework/guide/facility/#campusmap

図書館

本学図書館では、教員や学生の方々のために、保健医療福祉をより幅広く、より専門的に学ぶための支援環境を整えています。なお、大学と共同利用しています。

図書冊数と閲覧室座席数（2023 年 5 月 1 日現在）

図書冊数	123,258 冊
閲覧室座席数	244 席

>>>詳しくは　聖隷クリストファー大学　図書館ホームページ　をご覧ください。

https://lib.seirei.ac.jp/library/